

八重瀬町役場の新採用職員を紹介します

年齢 28歳
出身地 長毛
配属課 総務課
座右の銘 継続は力なり
自己PR 初心を忘れずに、常に町民の視点に立ち町の発展と町民が安心して暮らせていける町作りを目指して、日々努力をしていきたいと思っています。



年齢 27歳
出身地 世名城
配属課 企画財政課
座右の銘 笑う門には福来る
自己PR 「他人と過去は変えられないが、未来と自分は変えられる!!」。後で後悔しないように今、自分のやるべき事を一つ一つ頑張ります！ヨロシクお願いします。



具志頭庁舎勤務



年齢 23歳
出身地 富盛
配属課 社会福祉課
座右の銘 百折不撓
自己PR 一日一日、日々勉強しながら成長していきたいと思っています。



年齢 20歳
出身地 後原
配属課 健康保険課
座右の銘 努力に勝る天才なし
自己PR 私は、窓口業務で町民の方々と接する機会が多いので気軽に声をかけて下さい。また、新社会人なので分からない事だらけですが一生懸命頑張りますので町民や役場職員のみなさんよろしくお願致します。



年齢 22歳
出身地 世名城
配属課 行政経営課
座右の銘 一日一善
自己PR 早く環境に慣れ八重瀬町民の為になれるよう頑張りますので、よろしくお願致します

町民のみなさま、どうぞよろしくお願致します

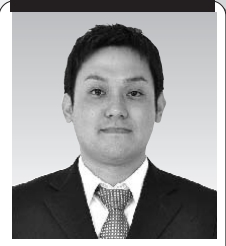
東風平庁舎勤務



年齢 24歳
出身地 新城
配属課 都市建設課
座右の銘 一期一会
自己PR まだ馴れない部分も多々ありますが、大変やりがいを感じながら、仕事に励んでいます。町民の意見に耳を傾け豊かな町づくりに反映できるように頑張っていきたいです。



年齢 25歳
出身地 東風平
配属課 経済課
座右の銘 継続は力なり
自己PR 住民の求める職員となって使命感と責任感、そして初心の気持ちを忘れずに、魅力あるふるさとづくりに関わり精一杯努力していきたいと思います。



年齢 27歳
出身地 上田原
配属課 経済課
座右の銘 梅でんす雪に積められて後ど 花も匂増しゆる 浮世だいもの
自己PR 町民のみなさんをはじめ、先輩方の指導を受けながら一所懸命がんばります。

区画整理事務所勤務



年齢 27歳
出身地 外間
配属課 区画整理課
座右の銘 初志貫徹
自己PR 八重瀬町民の皆様の住みよいまちづくりと将来の八重瀬町のさらなる発展に貢献するため、責任と自覚を持って仕事に取り組んで参りますので、宜しくお願致します。



中央公民館勤務

年齢 27歳
出身地 志多伯
配属課 社会教育課
座右の銘 一寸光陰
自己PR 右も左も分らず、日々、責任ある業務に四苦八苦していますが、町民の皆様や先輩職員との協力を得ながら邁進し、八重瀬町に貢献して参りたいと思っておりますので宜しくお願致します。

公共事業再評価の結果を答申！

本町では、公共事業の効率性とその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、国庫補助事業について一定の要件に該当する事業の再評価を行っています。

平成21年度においては、下記の再評価対象事業について、町長から八重瀬町公共事業評価監視委員会に今後の対応方針案が諮問されました。八重瀬町公共事業評価監視委員会では、町の評価原案に基づき、事業の投資効果、進捗状況、社会情勢の変化、コスト縮減などの観点から、計3回の審議を行い、その結果を3月31日、比屋根町長に答申しました。

町では、委員会の答申を参考に、対応方針（事業継続、事業の見直し、事業中止等）を決定することになります。（審議結果の概要と結果は以下のとおりです。）

○平成21年度の再（再々）評価事業

那覇広域都市計画事業 屋宜原土地区画整理事業

○再（再々）評価の理由

再評価（平成16年度）後、一定期間（5年）を経過している。

○事業の概要

【総事業費】 7,331百万円

【事業量】 28.3ha

【事業期間】 平成8年度～平成22年度（平成25年度まで延伸予定）

○審議の概要

各委員から、今後3年の延伸を含む事業期間（H22～H25）内の事業費財源の裏付け、地区外用地の補償交渉、事業執行上の職員体制、汚水・下水処理施設の問題などが取り上げられ、活発な質疑応答が行われた。

○審議結果

事業継続は、妥当であるものと認められる。

○付帯意見

- 現在の危機的な財政状況から見て、事業の長期化に伴い事業費が倍増している中、更なる計画期間の延伸であり、事業完了までの財源とする保留地処分を確実に執行し、財源確保に努めてもらいたい。
- 地区外用地の取り扱いについては、長期にわたって地権者との補償交渉が難航し、事業の停滞や幹線道路の安全性確保の低下など、様々な局面で悪影響がでている状況である。今後の補償交渉においては、町長を先頭に早期解決に向け、協力に取り組んでいただきたい。
- 事業が終盤を迎え、事業量が減少して行く中、各年度事業費に占める人件費が約半額と高率である。職員体制については、事業量に応じた適正配置に取り組むことに努め、財政計画等に基づいた適正な事業執行を図ること。
- 当該地区内の汚水、下水処理については近代的なまちづくりの観点から非常に憂慮される問題である。現在、策定中の八重瀬町下水道基本構想で、実施可能な計画として取り組んでももらいたい。

